

住宅会社と共同開発

有明高専

タブレットのアプリ

「住宅のIT化、高専が手伝います」。有明高専電子情報学科と荒尾市の住宅販売業アーバンホーム株式会社(吉野悟社長)がタブレット(多機能型端末)の住宅販売PR用のア

プリ(ソフト)を開発。荒尾市のモデル住宅でデモンストレーションを開催した。

共同開発したアプリはキーホルダーからアプリを読み込み、企業のホームページや企業情報、電子メールの受信、発信を簡単にアクセスすることができるようになったり、子どもの帰宅などを保護者の携帯端末へ簡単に発信できるようにする。

共同研究は昨年秋ごろから有明高専電子情報学科の石川洋平准教授の研究室に在籍していた眞崎瑛里さん、熊野修平さんが携わり、四月から五年生の國崎恒成さん、川添浩太郎さんが引き継いでいる。國崎さん、川添さんは「将来的には子どもの安全確認ができたり、顧客管理ができるようなアプリになればと研究を進めています。また住宅を建てるときは設計図など膨大な紙の資料が必要ですが、タ



開発したアプリ

タブレット一台ですむようになるようにしたいなと思います」と話した。